

図書だより

<鳥之郷小学校 図書室>

令和7年7月18日(金) 夏休み号

読むこと、書くこと、自分を知ること。



第71回 青少年読書感想文全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/文部科学省・こども家庭庁 協賛/サントリーホールディングス株式会社

☆☆読書感想文にチャレンジしよう!☆☆

【応募要項】

◇対象図書

◎課題読書

主催者の指定した図書(課題図書)

同一部内における学年指定はありません。

◎自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションは問いません。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌(別冊付録を含む)、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由図書として応募することができます。

◇用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書き・自筆(原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はなし)してください。

②文字数については下記の通りです。

低学年(1,2年生) ……本文 800字以内

中・高学年(3~6年生) ……本文 1200字以内

③句読点は1文字に数えます。改行のための空白か所は字数と数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

⑤入賞・入選作品は、理由を問わず返却しません。

※応募票を添えて提出してください。記入漏れのないようにお願いします。

締め切りは、8月21日(木)の全校登校日です。担任の先生に提出してください。

第71回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

小学校 低学年の部

1・2年生



ライオンのかげのネズミ

さかとく み雪 作
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-12-005848-6
〈中央公論新社〉



ぼくのねこポー

岩瀬成子 作
松成真理子 絵
定価 1,430円(本体 1,300円)
ISBN978-4-569-88162-1
〈PHP研究所〉



ともだち

リンダ・サラ 作
ベンジー・デイヴィス 絵
しらいすみこ 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-86549-336-8
〈ひさかたチャイルド〉



ワレワレはアマガエル

松橋利光 文・写真
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-7520-1099-9
〈アリス館〉

小学校 中学年の部

3・4年生



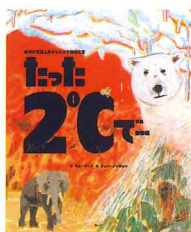
ふみきりペンギン

おくはらゆめ 作・絵
定価 1,430円(本体 1,300円)
ISBN978-4-251-07316-7
〈あかね書房〉



バラクラバ・ボーイ

ジェニー・ロブソン 作
もりうちすみこ 訳
黒須高嶺 絵
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-580-82623-6
〈文研出版〉



たった2°Cで...

地球の気温上昇がもたらす環境災害
キム・ファン 文
チョン・ジンギョン 絵
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-494-01256-5
〈童心社〉



ねえねえ、なにを見てる?

ビクター・ベルモント 絵と文
金原瑞人 訳
定価 1,793円(本体 1,630円)
ISBN978-4-309-23155-6
〈河出書房新社〉

小学校 高学年の部

5・6年生



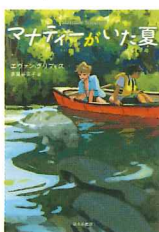
ぼくの色、見つけた!

志津栄子 作
末山りん 絵
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-06-535439-1
〈講談社〉



森に帰らなかったカラス

ジーン・ウィリス 作
山崎美紀 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-19-865894-6
〈徳間書店〉



マナティーがいた夏

エヴァン・グリフィス 作
多賀谷正子 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-593-10430-7
〈ほるぷ出版〉



とびたて! みんなのドラゴン

難病ALSの先生と日明小
合唱部の冒険
オザフ部長 著
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-265-08041-0
〈岩崎書店〉

中学校の部



わたしは食べるのが下手

天川栄人 作
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-338-28728-9
〈小峰書店〉



スラムに水は流れない

ヴァルシャ・バジャージ 著
村上利佳 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-7515-3184-6
〈あすなろ書房〉



鳥居きみ子 :家族とフィールドワーク を進めた人類学者

竹内紘子 著
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-7743-3386-1
〈くもん出版〉

高等学校の部



銀河の図書室

名取佐和子 著
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-408-53859-4
〈実業之日本社〉



夜の日記

ヴィーラ・ヒランダンニ 著
山田文 訳
金原瑞人 選
定価 2,420円(本体 2,200円)
ISBN978-4-86793-041-0
〈作品社〉



「コード」のぼくが見る世界

聴こえない親のもとに生まれて
五十嵐大 著
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-314-01208-9
〈紀伊國屋書店〉

第71回 青少年読書感想文全国コンクール 応募票

※切りは 登校日（8月21日）です。応募要項をみて、この応募票を書いて、担任の先生まで持ってきてください。

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をとじてください。
3. 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
4. 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承のうえ、記入してください。

読むこと、書くこと、自分を知ること。



第71回 青少年読書感想文
全国コンクール

応募票

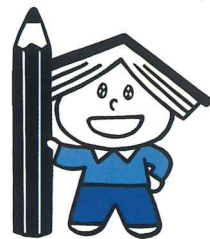
※提出は在籍校へお願いします

応募区分	課題読書 自由読書 (○で開んでください)
------	-----------------------------

感想文の題名							
所 属	(ふりがな) 学 校 名	(都道府県 郡 市区町村)					
	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番 から記入してください)	立 学校					
応 募 者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校				学 年	年
	(ふりがな) 氏 名	()				生年月日・年齢 ※高校生のみ記入 年 月 日生(歳)	
対 象 図 書 (読んだ本)	書 名 ※サブタイトルも必ずご記入ください						
	著者・編者・訳者・画家						
	シリーズ名・文庫名						
	発行所・発行年	発行所				発行年	年
	定価・大きさ・ページ数	定価	円(本体 円)		大きさ	縦の長さ cm	ページ数
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で開んでください)		有・無	(参考にしたもののタイトルやWebアドレス等を具体的に記入してください)				
応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。 すべてご同意いただいたうえで、チェック ☒ を入れてください。 ☐ 了承します							

読書感想文 Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」
「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみたりしてください。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。引用する場合は、一字一句本文と違わないように書いて、必ず「」（カギカッコ）でくくきましょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中のアふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。